

ボートピア建設反対の請願・陳情を否決

六月議会の文教経済委員会(以下、委員会)で、場外舟券売場(ボートピア)誘致に反対する女性団体の請願と市民団体の陳情が採決されました。これを受けて本会議で請願を採決した結果、賛成の議員は日本共産党(二名)を含め八名で、少数で否決されました。(※賛成、反対の議員一覧は別表のとおり)

日本共産党 ギャンブル依存症と多重債務の拡大を指摘

請願審議した委員会では「地元自治会と事業者間の基本協定において、文教上、環境上、防犯上の配慮について十分に対応される内容が盛り込まれていること、またミニボートピア施設設置がギャンブル依存症を飛躍的に増やす要因になるとは必ずしも考えられない」として、独自に調査をしないまま、請願を否決しました。

これに対し、本会議で日本共産党を代表して角谷敏男議員が賛成討論に立ちました。角谷議員は、県立精神保健福祉センターでは、最近二年間で十八人のギャンブル依存症の該当者があったこと、借金の問題が付くと相談に來なくなることを明らかにし、潜在的には相当な該当者がいると指摘。そして、多重債務者の拡大、ギャンブル依存症の被害者をつくらないためにも、請願を採択するように求めました。

一方、西田正人議員(清和会)は、請願が指摘する

北九州市の競艇場施設に掲示された看板(二十年十月撮影)



ボートピア誘致反対の請願に対する議員の態度 (賛成は太字、反対は細字、順不同)

| 会派名 | 議員名 | 会派名 | 議員名 |
|--------|--|-------|---------------------|
| 清和会 | 上紙光春、岡田浩四郎、下村佳弘、西田正人、金谷洋治、高見則夫 吉田博幸、谷口輝男、有松数紀、湯口史章、福田泰昌 | 市民会議 | 橋尾泰博、森田紘一郎、児島良、中村晴通 |
| こう風 | 松本信光、房安光、森本正行、中西照典、入江順子、上杉栄一 | 日本共産党 | 村口英子、角谷敏男、伊藤幾子 |
| 公明党 | 田村繁巳、谷口秀夫、桑田達也、武田えみ子、河根裕二 | きずな | 川瀬滋子 |
| 民主・民世会 | 上田孝春、両川洋々、寺垣健二、長坂則翁 | 無所属 | 秋山智博 |

議員名(中島規夫議長は除く)

旧岡崎邸の現地保存を求める陳情

日本共産党 議会独自に必要な調査を要求

**市・県民税を
年金引きするぞ!** 今年10月から
条例改悪で実施

65歳以上の市民は市民税・県民税を年金から強制徴収されるようになりました。それには一定の条件があるにせよ、市報を見た該当者から「いつ決めたのか!」と怒りの声が寄せられました。

実は、昨年6月定例議会で、市税条例が改悪されました。日本共産党は反対し、その討論で「(年金天引き)で行政側の効率のみを目的にし、主権者の自主納付をみとめないのは問題」と述べました。これに対し、下村佳弘議員(清和会)は「納付の利便性、収納の簡素化、確実性などの面で評価できる」と、賛成討論をしました。

所得税と介護保険料、そして国保料につき、今度は市・県民税の年金天引きです。これは、医療や介護の費用などの負担に苦しんでいる市民の暮らしの実態を知らないやり方で、許されません。

武家屋敷「旧岡崎邸」の保存を求めてNPO法人が市議会に提出していた陳情を総務企画委員会は、約一時間の議論の末、採決をおこないました。最初に陳情を継続審査にするかどうかを諮りました。角谷議員など四人が継続審査に賛成しましたが、可否同数となり委員長判断で継続審査は認められませんでした。次に、陳情の採決に移りました。角谷議員と上杉議員が退席のあと、採決がおこなわれ、賛成少数で否決されました。

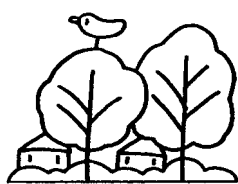
角谷議員が、継続審査をもとめ、採択・不採択の採決には加わらなかつたのは、次のような主張と見解であったからです。

①市教委の文化財審議会が、文化財指定の諮問をしながら、たことは問題ないとしたが、会議が非公開になった。そのため、審議の過程や各委員の意見が正確にわからないので、議事録を資料として委員会に提出して審議を継続すること。

②市教委は「市の指定に足る文化財と考えていない」として、文化財としての価値判断をおこない、審議会にも諮っているが、提出した陳情書は文化財としての保存をもとめていない。

③陳情書に添付された参考資料には、岡崎邸の保存価値として歴史性、希少性、建築技術性など四点をあげ、市に対して現地保存の協力をもとめている。一万人近い署名にも応えて、もっとその意図などを陳情者から直接聞くべきである。

以上の理由からさらに必要な調査を主張し、継続審議をもとめられたので、このままでは賛否の最終判断はできないことを表明し、退席をして採決に加わりませんでした。



日本共産党 市議団だより 09年8月号

伊藤いく子議員 ☎21-5759 角谷敏男議員 ☎26-3012 村口英子議員 ☎59-0536
☎680-0843 鳥取市南吉方3-302-2 ☎0857-23-6674
(日本共産党 東・中部地区委員会) FAX 0857-24-4491

ホームページ：
日本共産党鳥取市議団
<http://www.jcp-torishigidan.net/>
ブログ・角谷敏男議員(角さんの飛脚便)
<http://www.kakutani-toshio.net/>
伊藤いく子議員(鳥取で子育てまっしぐら)
<http://www.itou-ikuko.net/>

給食センターの民間委託で労働者いじめ

伊藤いく子議員

なんと夏休み期間中は賃金カット！これでいいのか

これに対して、伊藤議員は「夏休みはお休みで、給料をカットされるというのは、労働者いじめで生活設計が

今年四月から民間業者には、職員体制が変わります。湖東と国府の両学校給食センターでは、夏休みには正職員が基本的に休み、食品等の研磨作業・調理機等の清掃、メンテナンス作業はパート職員が業務にあたる体制となります。

伊藤いく子議員は、教育委員会の業者選定委員会の記録を見て、企業秘密と思われる黒塗りで非公開の箇所に疑問を感じていました。

そこで、夏休みとなる正職員の給料はまさかカットされることはないのかという質問に、教育長は「若干減額される」と聞いている。企業の内容なので、答弁は控えたい」と述べました。



伊藤いく子 議員

成り立たないがどう考えるのか」と追及。教育長は「労働の量にあわせた委託金額が計算のものになっている。雇用される方もこの条件を理解のうえで雇用されている」と答弁しました。伊藤議員は、委託契約に入っているとするとますますひどい制度であり、来年も再来年も続けることはとんでもないと批判しました。

Q 委員：夏休みの人員体制は？

A：は基本的には休む。研修などはこの間に行く。

Q 委員：正職員がとなっていて、法的に問題ないのか？

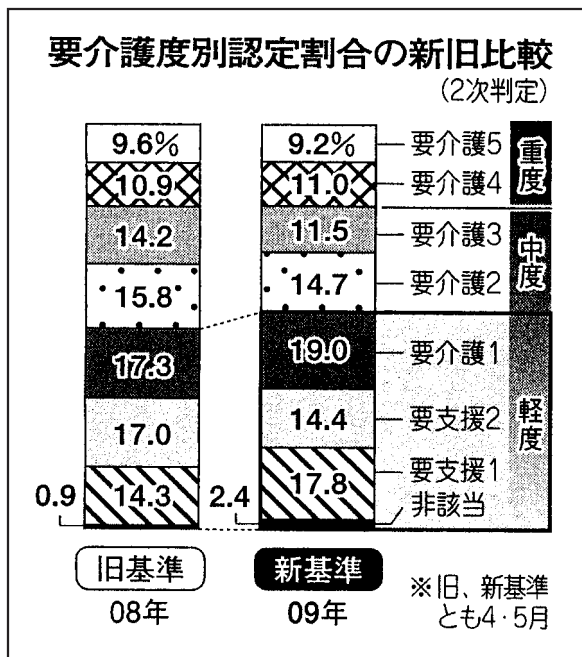
A：ない。

■業者選定委員会の議事録の一部（黒塗りで企業秘密扱いの回答部分）

介護保険の見直し問題

村口英子議員

基準見直しとサービスの削減はやめよ



(厚労省資料、7月30日しんぶん赤旗より)

四月から介護保険の見直しがおこなわれました。その一つが判定方法の見直しです。日本共産党の小池晃議員の国会質問で、その理由に厚労省が介護費用を約三〇〇億から四〇〇億削減する狙いが明らかになりました。そのため、判定の認定基準を変えて調査項目も削減し、要支援2と要介護1の認定数について、より軽度の要支援に移行させることでヘルパー利用の制限など、サービスの削減をすすめるものです。

しかし、こうした厚労省の非該当が三倍に、要介護1の軽度者も増加し必要なサービスが奪われる結果を示す資料



村口英子 議員

のやり方に利用者や介護関係者から批判の声が上がりました。その結果、経過措置として新しい審査結果と更新前の要介護度のどちらかを選択できる制度の導入を市町村の判断でできるようになりました。村口英子議員は、「コンピュータ判定で軽度に判定される心配があったが、この経過措置の現状はどうなのか」とたどりました。担当部長は「五月末の実績は、審査会より重い介護度の決定者五八八（約一五％）、軽い介護度の決定者一三人（三％）、審査会どおり三二六人（約八二％）で、いずれも申請者の要望どおりになっている」と答えました。

人権交流プラザ（旧解放センター）の施設貸与

角谷敏男議員

いつまでも特定団体の入居は不公正



人権交流プラザ（幸町）

市当局は、「同和問題を主目的として、拠点施設として設置されたもので経緯があり、使用を許可している。いまのところ急激な変化は考えていないが、今後の見直しに向けて団体の協議が必要である」と答弁しました。

角谷敏男議員は、「今日、さまざまな人権を求める団体が活動している。特定の団体に限って入居させることは不公正であり、改善すべきではないかと思うが、どうか」質問しました。

市はこの施設に入居する運動団体（解放同盟鳥取県連）に対して、長年施設の使用を許可しています。



角谷敏男 議員

昨年六月議会にわが党議員団は、鳥取市解放センターの名称を変更するように要求し、今年四月から鳥取市人権